

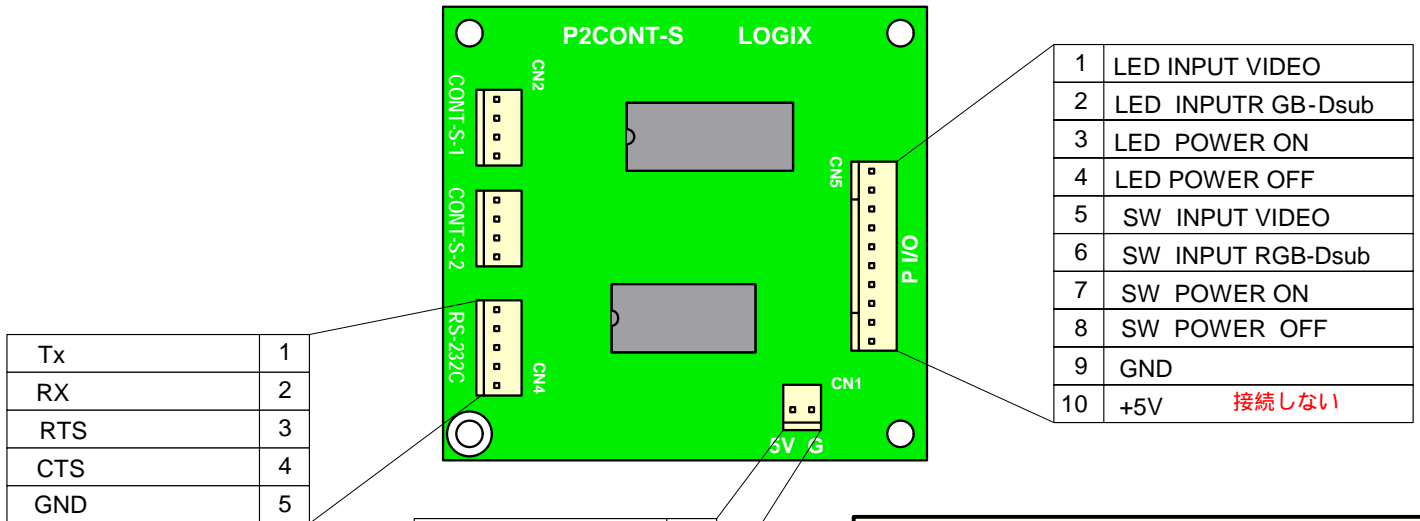
信号変換基板 取扱説明書

接点 RS232C
富士通ゼネラルPDP P63XHA30用

(有)ロジックス

857-0055
長崎県佐世保市湊町2-15 E-mail : logix@lgx.co.jp
電話 : 0956-25-3963 WebPage : www.lgx.co.jp
FAX : 0956-25-3964

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。注意点として、接点入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

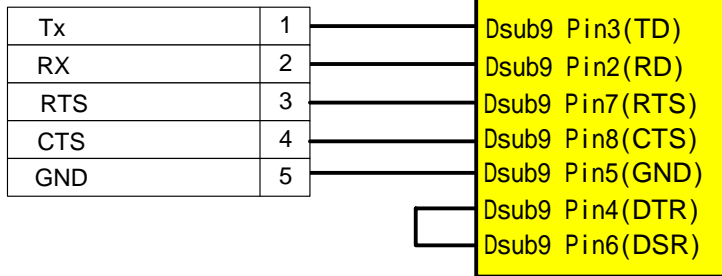


Tx	1
RX	2
RTS	3
CTS	4
GND	5

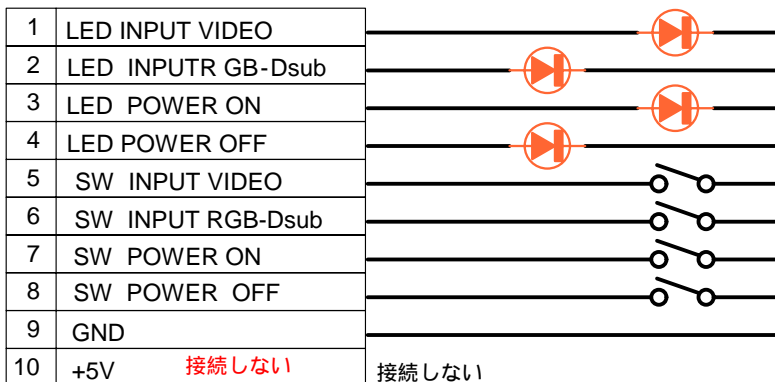
+5V	1
GND	2

CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します
(消費電力: DC5V 50mA以下)

CN4 : RS-232C入出力



CN5 : パラレルコントロール入力



電源OFF時にPOWER-ON スイッチを押すと、プロジェクタの電源が入り、ランプ点灯制御中になります。このとき、POWER-ON-LEDはオン3, オフ1の割合で30秒間点滅します。この点滅中は他の操作は無効です。

電源オン時、POWER-OFF スイッチを押すと、消灯制御に移ります。消灯制御中は、POWER-OFF-LEDがオン1, オフ1の割合で45秒間点滅します。消灯への移行時は他の操作は機能しません。

電源オン時、入力切換スイッチ(SW VIDEO, SW RGB)を押すとプロジェクタは対応する入力に切り替わります。このとき対応するLEDも切り替わり点灯します。

動作表示のLEDはプロジェクタの状態を反映しているわけではなく、最後に押されたスイッチの状態を示しています。電源オフ時は入力切換は機能しません。

これらの端子をGNDに接続すると、該当するRS-232Cコマンドが出力されます。この信号はグラウンドにショートした瞬間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。